



# 肝ぞう通信

## 第1号 《ウイルス性肝炎撲滅に向けて》

### お知らせ

肝疾患医療センターは、肝疾患に関する心配事や悩み事のご相談にお応えしています。

当院では、総合相談室が窓口になっております。

場所：病院1階  
総合相談室

受付時間：

平日 9:00～15:00

土曜日 9:00～12:00

(第2・4土曜日除く)

### 豆知識

WHOは2030年までにウイルス性肝炎の新規発症者数を90%、死者数を65%減少させることを目指しています。

### 次回号

テーマ：

6月発行予定

### 発行責任者

東海大学医学部附属病院  
肝疾患医療センター長  
加川 建弘

## 2022年度も「肝ぞう通信」 を発刊します！

東海大学附属病院肝疾患医療センターでは、2019年度まで月に1回「肝臓病教室」「みんなの肝臓病講座」を開講し、直接皆様に、肝疾患の様々な情報をお伝えしてきました。しかし、2020年度、2021年度は新型コロナウイルスの蔓延に伴い、人が集まる講演会は開催できず、月1～2回程度、肝疾患の様々なテーマについて、それぞれの専門家に執筆頂いた「肝ぞう通信」を皆様に届けることにいたしました。2022年度はコロナも収束し、講演会を開催できるかなと期待しておりましたが、未だ先が見通せず、講演会を行うことを断念しました。本年度も引き続き、「肝ぞう通信」で情報をお伝えしたいと思います。

### WHOが掲げる肝炎撲滅目標（図参照）

2016年WHOはウイルス性肝炎撲滅に向けたロードマップを作成しました。それによると、新規のB型肝炎発症者を2015年の470万人から2030年には47万人に、新規のC型肝炎発症者を2015年の175万人から2030年には17.5万人に減少させることを目標にしています。また、B型肝炎による死者数を2015